

事業者からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年3月11日

事業所名 伊達市にじいろ園

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生になると体格が大きいため、みどりコースで利用人数が8名になると狭く感じられます。椅子をかさばらない物に変える等、1つのエリアを広くするなど工夫していきたいと思います。</li> <li>・集団活動などする時には、運動のエリアを時間帯で分けて使う等、中学生など体力が有り余っている為、校庭を活用しマラソンやトレーニングなどできるようにしています。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切であるか	3	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の職員がいても補充されず、少ない人数で対応だったので余裕を持って子どもたちに接することができないことがありました。</li> <li>・職員の休み等が重なり手不足になると、支援に余裕がなくなる為、今後職員の配置を見直していきたいと考えている。</li> </ul>
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動式の補助具があると良いと考えています。</li> <li>・利用者の状況に応じて、手すり椅子など補助具を準備していきたいと思います。</li> </ul>
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの先生とは話して子どものことについて把握できるが、他クラスのことで把握するのは難しい。話し合う機会を設け、一人一人に合った支援をしていくとよいと思います。</li> <li>・経営健全化計画の目標について、職員全員で話し合う機会を設け、業務改善を図っていききたいと思います。</li> </ul>
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善をしようと考えているが、他園との共有を供与されるため、保護者から意見を頂いても改善できないことがあります。他園の意見が強く、要望を聞き入れてもらえないことがあります。</li> <li>・保護者からの要望に応えられるよう、法人の事業所と話し合う機会を設けて改善できるよう努めていききたいと思います。</li> </ul>
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで、公開しています。</li> <li>・事業所内には、玄関に掲示します。</li> </ul>
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方の意見が強いのではなく、互いに意見を尊重し合い、解決できるよう第三者の方に入ってもらい評価してほしいです。</li> <li>・第三者の方からの外部評価を頂き、業務改善に努めていききたいと思います。</li> </ul>
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加する方としない方で分かれてしまうので、スキルアップの為、園内研修としてみんなで学べる機会があると良いのではないかと思います。</li> <li>・外部研修、内部研修を行いそれぞれ参加していますが、スキルや考え方の違いなどで温度差が出てきます。職員全体で共通理解が図れるよう、ケース検討会や特性の理解に関する内部研修を定期的に開催したいと考えています。</li> </ul>

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や職員のニーズが強くなってしまふ為、子どもに寄り添った計画を立てれるように職員同士、情報共有していきたいです。</li> <li>子どものニーズや意見等も考慮した、サービス計画書になるようアセスメントを強化していきたいと思います。</li> </ul>
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化されたアセスメントツールは使用していません。個別支援計画書も新しく改正になった為、5領域に沿ったアセスメント票を作成しています。</li> </ul>
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員間で一人一人の計画を把握し、計画に沿って支援できるよう心掛けていきたいと思います。</li> <li>会議等で、行事や活動を立案し周知していますが日頃の活動は、常勤の職員が立てることが多くなってしまいます。週案を立て、クラスの担当で立案できるように考えています。</li> </ul>
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものニーズに添って計画を立てようと努力しているが中々、難しいです。</li> <li>5領域の内容に沿った活動プログラムを立て、スケジュールを組むようにしていきたいと思います。</li> </ul>
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人に沿った課題を設定するように心がけています。</li> <li>長期休暇等には、日頃できない活動や行事、社会体験活動を取り入れています。夏には、プール活動など季節や天候に応じた活動、体を動かす活動やメニューを変えて取り組めるようにしています。</li> <li>長期休暇等には、宿題や課題をする時間を大目に取り組みんだり本人の好きな余暇の時間も設けたりしています。</li> </ul>
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を行っており個別支援計画書にも記載できるようにしています。個々によって偏りが出てしまいますが、1日のスケジュールを組む際意識しながら行っています。</li> </ul>
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>出勤時間がバラバラで、支援内容等を話できないことがあります。話せる際はどんなことをするのか、子どもにどう対応していきたいかクラスで話しています。</li> <li>常勤の職員間では、午前中にミーティングを行い、午後の時間にも行いますが、出勤時間がバラバラなため、日誌に連絡事項を記入し共有できるようにしています。</li> </ul>
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちのことについて話し合っていますが、時間がなく、あまり詳しくは話せないことが多いです。</li> <li>各クラス可能な限りクラスで振り返りを行い、そこで出た事項について、園長や児童発達管理責任者に申し送りしています。</li> <li>週1回は全体でのミーティングを行っています。</li> </ul>

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録が計画に添って記入するのが難しく、何があってもどんな関わりをしたのかだけ記録になってしまいがちです。</li> <li>・個別支援計画を確認し目標に沿った記録とすることで支援の経過が分かり評価がしやすくなると思うので、正しく記録できるように心がけていきたいと思います。</li> </ul>
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の特性を把握し、個々に合った計画を立てれるよう努力しています。</li> <li>・定期的にモニタリングを行い、子どもの状況や意向を踏まえ、計画の見直しを図っています。</li> </ul>
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立に向けて必要と思われることも個々の特性に合わせてながら支援しています。</li> <li>・ガイドラインの総則を参考にしながら支援を行うように心がけていきたいと思います。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援専門員を通して他事業所等での子どもの様子を伝え合い、共通して支援することができています。</li> <li>・担当者会議には、児童発達管理責任者とクラスの担当者が参加しています。</li> </ul>
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の為、私たちが何うとそのことに対して答えてくれることはあるが、情報共有は中々難しいところがあります。</li> <li>・学校に送迎の際に、子どもの状況についての申し送りをしていただいてますが、すぐに解決が難しいケースについては、授業の様子を見学する等、話し合いの場を作ってもらい共通理解を図れるようにしています。</li> </ul>
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通しての連絡ややり取りになる為、直接話す機会を設けてもらえるとありがたいです。</li> <li>・直接医療機関との連携は難しいですが、保護者を通して情報を共有しています。</li> </ul>
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前に利用していた事業所から情報提供を頂き、支援目標についても共有できるようにしています。</li> </ul>
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、中学部までの受け入れのため直接就労に繋がることは、ありませんが、他事業所に移行する際には、引継ぎを行い情報提供しています。</li> </ul>
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を通してどう関わっていくと良いのか話し合っているが、上手く伝えきれないので、直接話し合える機会があると思います。</li> <li>・発達障害者支援センターの方が当園を見学に来ていただき話をする機会がありました。困難ケースや対応について助言など頂ける機会など持てれば良いと思います。</li> </ul>

	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに学校がない為、交流は難しいため行っていません。</li> <li>・地域の子どもたちと交流できる機会はありませんが、同法人の事業所とレクレーションや合同運動会など一緒に行っています。</li> <li>・他の放課後等デイサービスの事業所と交流する機会がありました。</li> </ul>
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊達市の子ども部会放課後等デイサービス連絡協議会に参加しています。</li> </ul>
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の子どもの様子を連絡帳や口頭で様子が分かるように伝え、共通理解を図れるようにしています。</li> </ul>
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭でも行えるよう、どのように支援しているか説明し、共通して支援しているが、持続するのが難しい場合もあります。</li> <li>・家族が就労している方が多く、ペアレントトレーニングなどに参加するのが難しい為現在は行っておりませんが、必要に応じて対応の仕方をお伝えしています。</li> </ul>
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始前に契約を交わす際に説明をしています。変更があった場合には、文書を交付して確認して頂くようにしています</li> </ul>
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃は連絡帳や降園時に相談があった際には、随時対応や支援方法について助言させて頂いています。</li> <li>・個別療育相談を年2回行い、学校や家庭での様子を聞いたり、悩み事や困りごとがないか確認したりするようにしています。</li> </ul>
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会は、保護者の負担を軽減する為、昨年でなくなりました。</li> <li>・親子活動、クリスマス会、奉仕作業、施設見学など保護者が参加できる活動を行い、保護者同士が交流図れるようにしています。</li> </ul>
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの意見を聞いて検討し対応しています。支援内容や対応について指摘や意見があったらできるだけ早く対応できるように努めています。</li> </ul>
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園便りを季節ごとに発行する予定ではありましたが、今年度も2回の発行となっています。できるだけ、子どもの活動している様子をインスタに載せて見て頂けるようにしています。</li> </ul>
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報には十分気を付け、来所者や外部に情報が漏れないよう努めています。</li> </ul>
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や園からの申し送りを連絡帳等で伝える等、視覚的な情報など提供しながらお話しできるような心掛けています。</li> </ul>
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園に直接地域の住人の方を招待してやる活動は行っていませんが、富成地区まちづくり振興会で行っている、ばんかた市や芋植えや花植えなどに参加させて頂いて地域の方と触れ合う機会を作っています。</li> </ul>
非	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルは策定して玄関に掲示してあります。また、定期的に職員の研修や訓練等も行っています。</li> </ul>

③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	・年2回総合避難訓練を行っています。今年度は、救急救命について職員研修を予定しています。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	・年に1回は虐待防止の研修を行い、適切な対応ができるようにしています。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	・身体拘束についても内部研修を行い、どうしても身体拘束をしなければならないときの条件や対応について話し合い、保護者にも個別支援計画書承諾を頂いて対応するよう努めています。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	0	・健康調査票を作成し、年度初めに記入してもらっています。今のところ家庭から医師の所見のコピーを頂いて対応しています
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	・事例があった場合にはヒヤリハットに報告書に記入し全職員が把握し、再発防止に努めるようにしています。